

環境モニタリング結果の解析について

(平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 1 月 31 日公表分)

平成 29 年 2 月 15 日
原子力規制委員会

『総合モニタリング計画』に基づき、関係機関が実施し、平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 1 月 31 日に公表されたモニタリングの結果は以下のとおりです。

なお、ここでのモニタリングとは、東京電力福島第一原子力発電所事故後に、日本の環境中の放射性物質濃度がどのように変化しているかを継続的に測定しているものです。

【福島県全域等】

- ・空間線量については、全体的に減少傾向にありますが、特別の変化はありませんでした。
- ・大気中の放射性物質濃度については、全体的に減少傾向にありますが、特別の変化はありませんでした。
- ・月間降下物の放射性物質濃度については、全体的に減少傾向にありますが、特別の変化はありませんでした。
- ・海水の放射性物質濃度については、全体的に減少傾向にありますが、特別の変化はありませんでした。
- ・海底土の放射性物質濃度については、特別の変化はありませんでした。

【その他地域】

- ・空間線量率については、概ね事故以前の水準で推移しており、特別の変化はありませんでした。
- ・公共用水域（河川、湖沼、沿岸）の放射性物質濃度については、特別の変化はありませんでした。
- ・月間降下物の放射性物質濃度については、全体的に減少傾向にありますが、特別の変化はありませんでした。

○本資料（別紙、参考資料を含む）については以下の URL で公開されています。

<http://www.nsr.go.jp/activity/monitoring/monitoring2-2.html>

○これらのモニタリング結果は以下の URL で随時、公開されています。

<http://radioactivity.nsr.go.jp/ja/index.html>

詳細については別紙を、基礎データについては参考資料をご参照ください。